

平成21年7月21日
環 境 局

「波力発電検討会」を立ち上げます

再生可能エネルギーの飛躍的拡大のため豊かな海洋エネルギー利用に向けて

都は、温室効果ガスの大幅な削減に向け再生可能エネルギーの飛躍的拡大を進めています。現在、太陽エネルギーの拡大を積極的に進めていますが、更に大幅な再生可能エネルギーの拡大が必要です。そのためには、恵まれた海洋エネルギーの利用が有効であり、日本では特に波力発電が、最も実用化の可能性が高いと考えられます。

しかし我が国では、海洋エネルギーが新エネルギーに位置づけられていないため国の支援が得られず、諸外国に比べ実用化に向けた取組が進んでいない状況です。

そこで、波力発電の利用可能性を検討するため、学識経験者や民間事業者等と共に「波力発電検討会」を立ち上げますのでお知らせします。

記

1 日 時 平成21年7月22日（水） 午前10時から

2 場 所 東京都庁第二本庁舎10階218会議室

3 「波力発電検討会」の目標

- （1）波力発電の新工法における新エネルギーへの位置づけ
- （2）波力発電技術の検証
- （3）波力発電の民間における事業化に向けた課題の検討

4 期 間

平成21年7月から平成22年3月までの概ね1年間

5 検討会に参加する民間メンバー

荒川忠一（東京大学教授）

鈴木浩平（首都大学東京名誉教授）

松浦正己（海洋研究開発機構海洋工学センタープログラムディレクター）

宮島省吾（三井造船昭島研究所）

長谷川伸一（稚内新エネルギー研究会代表）

ギルバート・ジョージ（オーシャン・パワー・テクノロジー）

＊波力発電とは：波の波動エネルギーを電気に変換し発電を行うもの。
欧米では、技術開発段階から実証試験段階に入り、イギリスでは商用段階へ移行しつつある。日本でも以前から研究が行われている。

問い合わせ先

環境局都市地球環境部計画調整課 直通 5388-3533